

法人向け Adobe Creative Cloud グループ版を活用して、 管理部門や IT 部門の従業員の作業効率をアップ

間接コストを最小限に抑えるため、テクノロジーへの投資と IT に費やす時間の予算を効率化することは中小企業にとって不可欠です。管理者が数十人のユーザーに対して複数の技術ライセンスを管理し、IT チームがこれらのソリューションを自社システムに統合して維持管理すると、クリエイティブソリューションのコストは簡単に蓄積されていきます。

Adobe Creative Cloud グループ版は、アドビが提供するクリエイティブアプリケーションやサービスをフルに利用できる統合クリエイティブソリューションです。Adobe Creative Cloud グループ版のライセンスモデルや技術的負担の少ないセットアップは、中小企業の効率化における課題を軽減するのに役立ちます。

アドビは、Creative Cloud グループ版の利点、コスト、リスクをより深く理解するため、5 社の組織を代表する 7 人の意思決定者に、電話で詳細なインタビューを実施し、現在 Creative Cloud アプリケーションとサービスを使用している中小企業の法人顧客 132 社を対象とした Total Economic Impact™ (TEI) 調査の作成を Forrester Consulting に依頼しました。¹

この要約は、Adobe Creative Cloud グループ版が提供する管理面や IT 面でのメリットのほか、中堅・中小企業にとっての価値をまとめたものです。

「チームで Adobe Creative Cloud グループ版を使い始める前には、ダウンタイムが発生し、アドビのソフトウェアの更新を確認する必要があります。3 人で行う業務がある場合、多くの時間がかかります。」

IT 運用・技術責任者、ゲーム開発者



管理ライセンスの効率性の向上
90%



年間アプリ管理時間の短縮
1,000 時間以上

管理部門・IT 部門グループ向け CREATIVE CLOUD グループ版の主な機能

Creative Cloud グループ版が提供するいくつかの主要機能は、組織における以下の管理および IT 関連のメリットを促進するものです。

- **管理者**：Creative Cloud のすべての統合アプリケーションとサービスを対象とした、単一契約で簡素化されたライセンスにより、事務処理がシンプルになり、将来のコストが予測しやすくなりました。
- **管理者**：Admin Console のライセンス管理を導入してから、いつでもどこからでも数クリックでライセンスの追加、削除、再割り当てが可能になりました。
- **管理者/IT**：管理者は、アドビの Admin Console のパッケージ作成ワークフローを使用して、IT が承認したプラグインの導入を一元管理し、ユーザーのデスクトップ上でアクセスできるようになりました。この機能により、管理部門と IT 部門は、管理された環境を安全に保つための制御を強化できるようになりました。
- **IT**：移動中の資産暗号化によるアセット保護、ユーザーが組織を離れる際のアセット再利用、Adobe ID によるユーザー認証など、組織に信頼性の高いセキュリティを提供します。

投資の推進要素

Creative Cloud グループ版の導入に至った背景には、管理業務や IT 業務の課題解決に向けたいくつかの目標がありました。

- **推進要素：クリエイティブソリューションのコストを最適化します。** システム管理者が毎週何時間もかけて、従業員のさまざまなクリエイティブソリューションへのアクセス状況を把握していると複数の回答者が述べています。Creative Cloud グループ版のユーザー調査によると、回答者の組織は平均で 5.6 個のデザインとビジュアルライゼーションのアプリケーションを使用していることが明らかになっています。

管理者は、各アプリの複数ユーザー間のライセンス管理、プロジェクトに参加する請負業者の管理、従業員の入社・退社などの管理業務を行います。その結果、管理者は必要以上のライセンスを契約してしまい、割り当てられた予算を無駄にしてしまうという失態を犯してしまったのです。また、ライセンスに関する可視性が欠けていると、管理者が解決に取り組んでいる間、従業員はツールにアクセスできないため、作業が遅れることとなります。

Adobe の単体契約と Admin Console は、管理上の課題のほとんどを解決するソリューションであることから、インタビュー回答者の間で注目されていました。一方、Creative Cloud グループ版が提供する幅広いアプリケーションとサービスは、組織が使用していた複数のソリューションをオフロードし、管理作業を軽減するのに役立ちます。

- **成果：クリエイティブアプリのライセンス管理を効率化します。** Creative Cloud グループ版のユーザー調査では、64%がライセンス管理の改善とプラットフォームの統合により、組織の費用対効果が高まったと回答しています。Creative Cloud グループ版では、従業員のアプリやサービスへのアクセスを完全に可視化できるため、管理者は未使用または重複するクリエイティブソリューションに費やすコストを節減することができました。また、Adobe の Admin Console の

導入により、管理者は従業員にソリューションのアクセス権を迅速に割り当て、従業員が業務を継続できるようになりました。

他のクリエイティブソリューションへの依存を減らし、システム管理者の時間を浮かすことができました。クリエイティブアプリの管理に費やす時間は 90%削減され、年間数万時間の短縮となりました。



技術チームの時間
短縮

2.7 時間

- **推進要素：IT チームにおけるクリエイティブソリューションの作業負担を軽減します。** Creative Cloud グループ版を導入する前は、プロジェクトの要件や従業員の要望に応えるために、定期的に新しいクリエイティブアプリを試していました。これらのアプリを活用するには、IT 部門がバックエンドで適宜に審査し、システムや他のアプリと統合しなければならませんでした。こうした審査の依頼が多かったほか、信頼性の高いパフォーマンスを保証するためのメンテナンスを余儀なくされ、IT チームは何時間ものサービスを定期的に提供する作業に追われていました。さらに、使用するクリエイティブアプリが多様で、統合されていないため、IT 部門が対応しなければならない技術的な障害が頻繁に発生していました。

クリエイティブアプリの安全な統合が困難なため、IT チームはセキュリティを綿密に監視し、アドビを含むすべてのアプリが最新の状態であることを確認するようになりました。特にコラボレーションに不可欠なツールとの連携に隙があると、クリエイティブワークの損失や経済的な損失を招きかねません。技術チームによる手作業の管理に月単位で何時間も費やされていました。

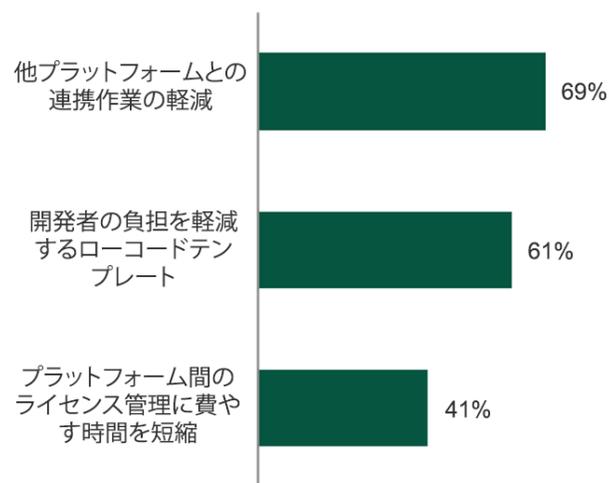
回答者は、アドビがさまざまなアプリとの連携をサポートしていることに関心を持ち、ワークフローの効率化に役立つかも知れないと考えていました。また、アドビのアプリやサービスを幅広く提供することで、セキュリティやアップデートの監視を管理しやすくすることも約束されています。

- **成果：IT サポートへの依頼が減り、時間のかかる作業も減少しました。** Creative Cloud グループ版は、IT 部門が承認したプラグインとアップデートを Admin Console にて管理展開することで、互換性の問題や技術的なエラーを低減しました。
- これにより、プラグイン導入のためのデューデリジェンスやバックエンドの作業が最小限になり、IT 部門が管理すべき技術的な問題も少なくなったため、製品やシステムの改善に専念する時間が持てるようになりました。

セキュリティにおいて、Creative Cloud グループ版では、IT チームが組織全体でアップデートをプッシュし、すべてのユーザーが同じ最新バージョンの Creative Cloud で作業できるようになりました。また、資産を暗号化し、アドビのクラウド

ストレージに直接ファイルをアップロードすることで、セキュリティ上の抜け穴を防ぐことができました。Creative Cloud に移行して以来、クリエイティブチームは、ソリューションが確実に実行され、アセットが安全に保護されていることを知り、安心できるようになりました。

Adobe Creative Cloudは、クリエイティブな取り組みを進める上で技術チームへの依存を減らすのに役立つと回答していますが、その要因を具体的に教えてください。



調査対象：Adobe Creative Cloudグループ版を使用する54人のユーザー

出典：Forrester Consulting が Adobe の委託を受けて実施した、法人向け Adobe Creative Cloud グループ版に関する委託調査（2021年4月実施）

「Admin Console で「必要に応じて」ライセンス数を増減できるため、将来の業務に備えてライセンスの割り当てを残しておく場合と比べてコストが予測可能になり、コスト節減につながりました。」

- IT・マーケティング担当副社長

TOTAL ECONOMIC IMPACT（総経済効果）の分析

詳しくは、本調査の全文をダウンロードしてご覧ください。「法人向け Adobe Creative Cloud グループ版に関する Total Economic Impact™」 - Forrester Consulting が Adobe の委託を受けて実施（2021 年 10 月）

調査結果

Forrester は、5 社の組織を代表する 7 人の意思決定者への電話によるインタビューを通じて、現在 Creative Cloud グループ版のアプリケーションとサービスを使用している 132 人の中小企業の法人顧客を対象とした調査を実施し、その結果を 3 年間の複合組織の財務分析にまとめました。リスク調整後の現在価値 (PV) の定量的利益には、以下のようなものがあります。

- 管理者は、Creative Cloud グループ版の単一契約により、クリエイティブアプリケーションの作業を 90%削減することができました。
- Creative Cloud グループ版は、クリエイターが高品質な作品をより早く完成させるようにすることで、生産性を 5,000 時間加速させました。
- グループは、サードパーティのクリエイティブアプリを活用することで、1,000 時間以上もの作業量を削減しました。



投資対効果 (ROI)

388%



正味現在価値 (NPV)

56,440,253 円

付録 A: 注釈

¹ Total Economic Impact は、Forrester Research が開発した手法であり、企業の技術関連の意思決定プロセスを強化し、ベンダーが製品やサービスの価値を顧客に提案するための支援を行います。TEI 手法を使用することで、企業は上級管理職やほかのビジネスの主要利害関係者に対して、IT イニシアチブの具体的な価値を実証し、正当化し、実現に役立てることができます。

開示事項

以下の点に注意してください：

- 本調査はアドビの依頼により、Forrester Consulting が実施しました。本文書は、競合分析を意図するものではありません。
- Forrester は、他の組織が受ける潜在的な ROI については一切想定していません。Forrester は、Adobe Creative Cloud への投資が各社にとって適切かどうかを判断するために、レポートで提供されたフレームワーク内で独自の推定を行うことを強くお勧めしています。
- アドビは本調査の報告内容を確認した後、Forrester にフィードバックを提供しました。ただし、本調査の内容と結果の編集権限を Forrester が有しており、Forrester の見解と矛盾する変更や、調査の意味を曖昧にする変更は認められていません。
- アドビは、インタビューのために顧客の名前を提供しましたが、インタビューには参加していません。

TEI について

Total Economic Impact™ (TEI) は、Forrester Research が開発した手法であり、企業の技術関連の意思決定プロセスを強化し、ベンダーが製品やサービスの価値を顧客に提案するための支援を行います。TEI 手法を使用することで、企業は上級管理職やほかのビジネスの主要利害関係者に対して、IT イニシアチブの具体的な価値を実証し、正当化し、実現に役立てることができます。TEI 手法は、「メリット、コスト、リスク、柔軟性」の 4 要素で構成されています。

© Forrester Research, Inc. All rights reserved. Forrester は Forrester Research, Inc. の登録商標です。

FORRESTER®